

第 9 回大学図書館 学生協働交流シンポジウム

2019 年 9 月 5 日（木） - 9 月 6 日（金）

島根大学松江キャンパス

9 月 6 日（金） 実施
ワークショップ成果物

AG グループ※ 企画シート

※A グループと G グループが合体している

第9回大学図書館学生協働交流シンポジウム
ワークショップ「“やりたいこと”を形にしよう！」企画シート

※この実施計画書は、シンポジウム終了後に特設Webサイトで公開します。氏名などの個人情報は記載しないようにお願いいたします。

企画名	みんなのおすすめの本コーナー	グループ名	AG - ①
企画の背景・動機	企画展示とかでは 図書館の人間が本を えらんだり、準備しているので、それ以外の 人のおすすめも知りたい。 POPをつくらたりは 時間がかかるので、 とりあえず、いろんな本にふれる機会をふやし たい。	企画を行うにあたり不安なこと、実行をため らう理由、悩み	本がどこにあるか分からない みたいな事 になりそう。
企画内容	・利用者さんがおもしろいと思えた本を ぽんと置けるコーナーをつくる。 ・本をおいておくだけでも良いし、 POPなどをつくらせてくれた時は いっしょにかざる。	メモ欄	
企画の目的(ゴール)	いろいろな種類の本にふれる機会が ほしい。 図書館にかかわっている人以外のおすすめ の本も知りたい。 本をえらぶ楽しさを知ってほしい		

第9回大学図書館学生協働交流シンポジウム

ワークショップ「やりたいこと」を形にしよう！」企画シート

※この実施計画書は、シンポジウム終了後に特設Webサイトで公開します。氏名などの個人情報は記載しないようお願いいたします。

企画名	図書館利用者大賞	グループ名	AG-2
企画の背景・動機	図書館に関心を持ってもらう 参加型の企画としていきたい 広範囲の利用者の利用したいという欲を かき立てたい	企画を行うにあたり不安なこと、実行をためらう理由、悩み	どの本をノミネートしていいか あるいはノミネートせずに開催するか)要検討 例: 貸出冊数の上位10冊(ノミネートの場合) ベストセラークォーター投票 実行するのにころにやってもいいか事務委託にお願いする
企画内容	本屋大賞のように図書館利用者による 投票を行ない、勝手に表彰する 身振に感じられるようにしたい と伝えず、年1回は開催したい 投票結果を学内及びSNSで流して 周知を行なう。	メモ欄	月1でやってもいいか。さきだけ読みやみ本 気軽に参加できる形態を考えた SNSで投票するアプリとか 投票用紙による投票 優勝した本を選んだ方の中より 数名に賞品を授与するこの検討 自分の好きな本が入っていたらうれしい と思うので、投票意欲を推進したい。
企画の目的(ゴール)	図書館利用者がどういった本に関心を持 っているか、どんな本が図書館にあるかを 周知して、図書館の利用促進に つなげる。図書に関心を持ってもらう。		

第9回大学図書館学生協働交流シンポジウム

ワークショップ「やりたいこと」を形にしよう！企画シート

※この実施計画書は、シンポジウム終了後に特設Webサイトで公開します。氏名などの個人情報は記載しないようにお願いいたします。

企画名	マスクットとコラボ企画	グループ名	AG-③
企画の背景・動機	コラボ企画によって図書館に興味をもってもらう。	企画を行うにあたり不安なこと、実行をためらう理由、悩み	公のキャラクターだと金銭面的に難しくなるのではないかと。著作権の問題。 どら コラボをしたとしても、宣伝をするか。
企画内容	他大学の図書館のマスコットキャラクターやゆるキャラなどとコラボをして、本を貸した冊数やミニゲームの参加などによって景品をゲットできる。 「コラボグッズ」の	メモ欄	・スタンプラリー形式 ・POP一枚につき1スタンプ ・ミニゲーム ・ポイントのレベル別には景品がランクアップする 例) 100P - 図書券 50P - 人形 5P - しおり など...
企画の目的(ゴール)	図書館の利用者や貸し出し冊数の増加。大学のマスコットキャラクターの知名度を上げる。少しでも図書館に関心をもってもらう。		・図書館のSNSのアイコンをコラボアイコンにする。 ・他大とコラボをするなら、大学対抗で貸し出し冊数を競ったりする。

第9回大学図書館学生協働交流シンポジウム
ワークショップ「やりたいこと」を形にしよう！企画シート

※この実施計画書は、シンポジウム終了後に特設Webサイトで公開します。氏名などの個人情報は記載しないようにお願いいたします。

企画名	リレー小説	グループ名	AG-4
企画の背景・動機	小説にかかわる機会を増やす。	企画を行うにあたり不安なこと、実行をためらう理由、悩み	持ち帰り可能なようにおなかとか、参加人数が限られそう
企画内容	1トをおいとおき、誰でも1行〜ページを毎日に書いていく。 期間を決め、作成していく 期間が終わったら回収し、展示する。	メモ欄	1トの模造紙 完成したら雑誌にまとめる。 エッセイに参加してもらおう人を増やすには？
企画の目的(ゴール)	小説がおもしろいと思ってもらう 図書館に行きたいとなさように		

第9回大学図書館学生協働交流シンポジウム

ワークショップ「”やりたいこと”を形にしよう！」企画シート

※この実施計画書は、シンポジウム終了後に特設Webサイトで公開します。氏名などの個人情報は記載しないようお願いいたします。

企画名	図書ごっち	グループ名	A・G ⑤
企画の背景・動機	・図書館で開催される各種イベントに参加できる方が少なく困っている。(イベント参加者の固定化) ・図書館の利用が少ない。(全体的に本離れ) ・上記の様な悩みを解消したい！	企画を行うにあたり不安なこと、実行をためらう理由、悩み	・お金や時間(アプリ作成) ・アプリの認知度(どれくらいダウンロードしてもらえるか)
企画内容	・「図書ごっち」という「たまごっち」風のアプリを作成する。 ・図書館のキャラクター(島大ならではのちんけん、けんたくん、ライム博士)を育ていく。 ・本の貸出がえきとなり、本の貸出が多ければ多いほどキャラクターがどんどん成長する。 ・各種イベントに参加すると、ポイントがたまわり、何かと交換できる。(例えば、キャラクターの洋服や、キャラクターが何かに登場している) ・成長すると何らかの図書館オリジナルグッズなどがもらえる。 ・成長したら、子孫繁栄、树々成長にできる。 ・しずか大交流会などの他大学などと交流ができる大きなイベントの時にブースに来てもらえたら「お見合い」として、種々の多様性。 ・隠しステータスを作る(この子は「いじや、おもしろい」など…) ・本の貸出制限を解除する権利をもらい、お礼の電話をかけるなど…	メモ欄	・アプリの作成について(金銭面、時間) ・成長するとグッズがもらえるにはどう増殖させるか外にも何かあれば良いかな… ・「貸出がエサになる」→気軽に良い ・子孫繁栄以外のファッションやRPGなどの要素も盛り込む ・アプリのダウンロード→自動的に難しい →本を借りた時にアプリも起動する仕組み… ・アプリを学生使いが作ってら？
企画の目的(ゴール)	・イベント参加者の増加、多様性を目指す！！ ・貸出冊数の増加！！		

第9回大学図書館学生協働交流シンポジウム
ワークショップ「“やりたいこと”を形にしよう！」企画シート

※この実施計画書は、シンポジウム終了後に特設Webサイトで公開します。氏名などの個人情報は記載しないようにお願いいたします。

企画名	POPコンテスト	グループ名	AG⑥
企画の背景・動機	図書館で本を選ぶ時にPOPがあると、より人は手に取ってくれやすくなると感じているため、コンテスト形式にすれば、制作者も投票者も盛り上がるのではないかと考えた。	企画を行うにあたり不安なこと、実行をためらう理由、悩み	図書館とあまり関わりがない人にどのように企画を伝えるのか
企画内容	主に図書館スタッフがPOPを製作し、それを展示しつつ、来館者やホームページなどで投票してもらい、一位のPOPを決める。 絵が中心のものや文章が中心のものなどいくつかの部門に分けてPOPを製作する POPの作り方の資料を用意して一般参加の部門も可能ならもうける。	メモ欄	
企画の目的(ゴール)	POPで紹介されることで、これまであまり注目されてこなかった本にも光があたり、貸し出しにつながったり、ねむていつか蔵書を活用できるのではないかと考えた。		

第9回大学図書館学生協働交流シンポジウム

ワークショップ「“やりたいこと”を形にしよう！」企画シート

※この実施計画書は、シンポジウム終了後に特設Webサイトで公開します。氏名などの個人情報は記載しないようにお願いいたします。

企画名	映画上映会	グループ名	AG-②
企画の背景・動機	勉強をしに来ているだけの人や、 本をあまり読まない人に来賓の きっかけを作る	企画を行うにあたり不安なこと、実行をためらう理由、悩み	アンケートの回答数を得たいが 好きな映画の時にしか行かないかも
企画内容	図書館内のライブラリーホールまたは 学内の教皇を使って映画の上映を 行う。 事前にAVコーナーを利用している人に 調査(アンケート)を行い、よく見られていた 映画を上映する 原作が本の映画	メモ欄	古い映画よりも新しい映画が好まれる 可能性大 → 傾きがある。 ↓ 学部学科ごとに分ける。 こちらの方をおすすめ映画を決める。
企画の目的(ゴール)	図書館に足を運んでもらう		

第9回大学図書館学生協働交流シンポジウム

ワークショップ「やりたいこと」を形にしよう！」企画シート

代表

※この実施計画書は、シンポジウム終了後に特設Webサイトで公開します。氏名などの個人情報は記載しないようにお願いいたします。

企画名	私達... 入木 智也!! 「あの図書館の名は。」	グループ名	AG-⑧
企画の背景・動機	自分達の活動を知ってもらい共に他の大学と 企画を作り活動の幅を広げたい シンポジウムで得た出会いを活用したい	企画を行うにあたり不安なこと、実行をためらう理由、悩み	他大学との連携の仕方 他との設備の違い
企画内容	各図書館で行なっている企画を交換し、 他9所の紹介を交換しつつどういってほしいのか 知ってもらい。	メモ欄	各一週間限定での紹介 事前にどういって大学の展示が見えるかというワクワク感 各大学とのご協力ポイントとかも聞いてみたい。 あと他大学とのPOPや展示方法もあおきず取り入れたい。 出来ればその企画をやってみたい。無理なら紹介だけでも。 他大学を知ってもらいたい機会
企画の目的(ゴール)	色々な大学図書館が、自分達の図書館と 良しようにいってほしいと知ってもらい。		

第9回大学図書館学生協働交流シンポジウム

ワークショップ「"やりたいこと"を形にしよう！」企画シート

※この実施計画書は、シンポジウム終了後に特設Webサイトで公開します。氏名などの個人情報は記載しないようお願いいたします。

企画名	放送研究会 × 朗読会	グループ名	AG-⑨
企画の背景・動機	他のサークルと協同で企画を行うことで普段 図書館に足を運ばない学生(サークルの関係者)の人にも足を運んでもらえるのではないかと。また自分で読むだけではちがう朗読を行うことで同じ小説でも新たな感じ方ができるのではないかと。と思うから。	企画を行うにあたり不安なこと、実行をためらう理由、悩み	どのように他サークルに向けて広報を行うか。
企画内容	図書館サポーターに本を選んでもらい、それを他のサークル(放送研究会など)に朗読してもらう。作品をジャンルで分け(SF、ホラーなど)その中から2つほどを選び一部分を朗読する。	メモ欄	放送研究会など放送のフロアのたまごの事できけるのはおもしろい
企画の目的(ゴール)	他のサークルにも図書館を広報の場として利用できると知ってもらうこと。 放送サークル以外にも色々なサークルとコラボできる一助とすること。 黙読だけでは分からない朗読の良さや新たな作品の良さに気付いてもらうこと。		